

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後 平成 21 年 3 月 26 日 作成
20年度決算把握後 平成 21 年 10 月 5 日 作成

総合計画体系	事務事業名	母子保健推進員設置事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連		
	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	健康福祉部	課長名	中山 輝一郎
	施策	18	子どもを見守り、育てる地域づくり			所属課	健康づくり推進課	担当者名	東 亜紀
	基本事業	60	相談支援体制の充実			所属班	健康推進班	(内線)	2169
法令根拠									

予算科目	会計	1	款	4	項	1	目	6	事業連番	10609	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	11	コスト削減優先度評価結果	6
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 昭和63 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)															

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】
行政と子育て中の親とのパイプ役として、母子保健推進員を配置。乳幼児健診等で、母親が安心して受診できるよう一緒に来た子どもさんのお世話をします。
【業務の流れ】
広報・チラシを配布し、母子保健推進員を募集。2年に1度委嘱状交付を行い、年に2回会議を開催する。健診等へ出てもらうための、日程の割り振りを行う。乳幼児健診未受診者に訪問してもらうため、依頼をする。訪問の結果を整理する。4半期に1度、支払う。
【主な予算費目】
報償費・旅費(費用弁償)・役務費(通信運搬費)

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		
① 手段(主な活動)	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN)	
20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO)	母子保健推進員 20名 会議開催数 2回	
母子保健推進員 20名 会議開催数 2回	健診等への参加(1回の健診に2~3人)	
健診等への参加(1回の健診に2~3人)		
	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)	
	ア 母子保健推進員の人数	人
	イ 健診等へ参加した母子保健推進員の延べ人数	人
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)	
母子	ア 4か月・7か月・1歳半・3歳児健診の対象者	人
	イ	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)	
安心して健診等を受診でき、保健指導等をしっかり聞けるようにする。	ア 健診の受診率	%
	イ	
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか)	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位)	
子育て不安を解消できる	ア 子育て支援センターの相談件数	件
	イ ファミサボ利用件数	件

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業内訳	単位	18年度	19年度	20年度	20年度	21年度	22年度	23年度	全体計画	
			実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	(目標)	(予定)		~ 年度
事業費	国庫支出金	千円								総トータルコスト (期間限定複数年度の記載)	
	都道府県支出金	千円									
	地方債	千円									
	その他	千円									
	繰入金	千円									
	一般財源	千円	124	144	317	279	311	311	311		
	(A) 事業費計	千円	124	144	317	279	311	311	311		0
	うち指定経費	千円									
	うち時間外、特殊勤務手当	千円									
	人件費										0
正規職員従事人数	人	1	1	1	2						
延べ業務時間	時間	130	130	130	172						
(B) 人件費計	千円	516	517	517	685	0	0	0	0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	640	661	834	964	311	311	311	0		
活動指標	人	17	17	20	20	19	19	19	総計 22年度		
	人	104	148	210	210	250	250	250			
対象指標	人	2403	2303	2350	2352						
	人										
成果指標	%	90	98	99	96.6	99	99	99			
	%										
上位成果指標	件	2889	3590	2900	2468	2800	2700	2700			
	件	2300	2212	2400	2350	2400	2400	2400			

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
健診対象者が増加し、また、対象者の兄弟と一緒に来るが増え、保護者自身がゆっくり健診時に相談ができない状況が出てきたため、合併を機に健診会場での子どもの世話をすることになった。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
合併前は、旧西合志のみに設置しており、妊婦及び経産婦とその赤ちゃんの訪問を実施していた。平成18年度より、健診時に一緒に来た子どもさんのお世話をするようになった。また、19年度途中より、母子保健推進員の人数が、9人から17人に増加した。平成20年度より20名となった。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
母子保健推進員より「たくさんの子どもたちに接することができてうれしい」「こない事業はお母さんたちにどんどん周知したほうがよい」
健診対象者より「母子保健推進員さんのことを聞いていたから、今日の健診に上の子ども連れてくることができました」「母子保健推進員さんが子どもをみてくれたから安心してマタニティ学級(健診)に参加することができました」との声が多い。

事務事業名	母子保健推進員設置事業	所属部	健康福祉部	所属課	健康づくり推進課
-------	-------------	-----	-------	-----	----------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 意図の「安心して健診等を受診でき、保健指導等をしっかり聞けるようにする」ことにより、結果の「子育て不安を解消できる」ことに結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 行政と子育て中の親とのパイプ役であり、子育ての不安の解消が図られるため。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 対象者・意図共に妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 平成20年度は1回の健診等につき、1～3人の配置であったが、平成21年度は2～3人の配置を行い、さらに安心して、健診等が受けれるようにする。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 特に動きの多い子どもさんに対しては、保護者と保健師等との信頼関係を築く必要がある。廃止すると、保護者が安心して健診を受けることができず、ゆっくり相談をする機会が少なくなる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 他に類似した事業はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 最低限の報償費で活動をしていただいているため。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 最低限の人件費で活動をしていただいているため。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 母子保健推進員は健診事業等に参加しているため、参加者は誰でも利用できるため、公平公正である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)												
<table border="0"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>②有効性については、平成20年度は1回の健診等につき、1～3人の配置であったが、平成21年度は2～3人の配置を行い、さらに安心して、健診等が受けれるようにする。</p>
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											
② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり											
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 有料ではあるが、ファミリーサポート事業もあるため、健診時に兄弟を預けてきてもらうことも検討してもらう。また、それ以外でも、ファミリーサポート事業など子育てサービスを有効利用してもらうために、子育て中の母親へ紹介をしていく(新生児訪問時に紹介する)。	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上			○																			
	維持																						
	低下																						

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
特になし。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	9	(直結度高い 1～3 直結度中 4～6 直結度低い 7～9)
(2) 貢献度	11	(貢献度高い 1～3 貢献度中 4～9 貢献度低い 10～12)